

「つながる力」を育む授業評価表（記入例） 評価日 平成◎年○月△日 評価者 XXXX

授業日	平成◎年○月△日	対象	高等部1～3年 情報Aグループ
題目	「パソコンや携帯電話の ルールやマナーについて考えよう」	題材	「パソコンや携帯電話を使おう」
つながる力	区分/要素		目指す姿
	コミュニケーション/意思表示		・自分の意見を持ち、友達や教師に伝える姿
	相手のこと/他者理解		・友達の意見を聞き、自分の意見との違いに気付く姿
	社会とのつながり/ルールやマナー		・話し合いを通して、自分の考えをより深めていく姿
	評価		改善策等
授業について	【学習内容について】 ◆〇×クイズは、考えを深めるという点で適切だったか？ ・〇×クイズは、分かりやすく、取り組みやすい活動であった。〇×を問う場面では、その正誤よりも、友達がどちらであるか、自分と同じ答えか、違う答えかについて非常に興味をもっている様子が見られた。 ・〇×クイズが盛り上がり、まとめの時間が十分にとれなかった。		題材設定、題材目標、時数、本時の目標、学習活動の展開…等 ・ゲーム性のある活動は、生徒の意欲喚起につながる。今回は、楽しみながら学ぶ良さだけでなく、自然に他者を意識する場面を生み出すことができたという点がよかった。 ・本時は2/4時間目であった。2時間扱いにできるとよいが、ゲームの内容を精選することも必要だろう。
	【指導・支援の手立てについて】 ◆自分の意見をもつ、相手に伝えるための手立ては有効だったか？ ・自分が「なぜ」そう思ったか、友達の意見を「どう」思うか、という発問に対し、正しく意味をとれなかった生徒が少なからずいた。 ・生徒の机をコの字型に配置した。互いの顔が見えてよいかと思われたが、生徒によっては目を伏せるなど居心地悪そうにする様子もあった。生徒間の関係性や相性等も考慮できるとさらによかったのではないか。 ・板書については、さらに検討が必要では…？		環境調整、学習集団全体に対する手立て…等 ・抽象的な発問をどのようにしていくか、検討が必要。考えるということのプロセスを丁寧に追うという経験を多く積むことができるとよいか？ ・安心感をもって接することのできる相手やモデルとなる相手との位置関係を考慮した座席配置を考えていく。 ・板書計画を見直す。（見やすさ、分かりやすさ等）
児童生徒の姿	【学習集団全体】 ・非常に意欲的に、積極的に学習する様子が見られたが、意見を発表する生徒は限定されがちであった。		・自分の意見を口頭で発表できることがすべてではなく、それぞれの手段で表明できることを大切にしたい。また、自分の考えをまとめる力も必要であり、そのプロセスをどのように教えるか必要な支援について検討する。
	【個人】 ・生徒Aは、他の生徒の意見を聞いて、自分の意見が少しずつ変化していった。普段は、頑なに意思を押し通そうとする姿がよく見られる生徒Aだが、話し合いを通し、自分と向き合い、友達と向き合えた瞬間だった。		・話し合い活動を設定したことは生徒Aに有効だった。今回は、生徒Aの意見が他の意見と大きく違っていたこともあり、その違いに自ずと気付くことができていたが、違いに気付くための手立てをよく練っておくとよかった。

活動中の様子、意欲、集団の雰囲気、前後関係の特記事項…等

一人一人の様子、発言、個人のねらいに対する手立て…等